

令和 5 年 10 月 23 日

報道機関 各位

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)、A 型インフルエンザウイルス、
B 型インフルエンザウイルスおよび RS ウイルスの 4 つの抗原を
同時に検出可能な検査キットを共同開発

富山大学 先端抗体医薬開発センター 磯部正治センター長と学術研究部工学系 黒澤信幸教授の研究グループならびに東洋紡(株)は、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)、A 型インフルエンザウイルス、B 型インフルエンザウイルス、および RS ウイルス由来の 4 抗原を同時に検出可能な検査キットの開発を行いました。

■ 概要

現在、新型コロナウイルスに加えインフルエンザウイルスや RS ウイルスなど、同様の呼吸器症状を呈する感染症の同時流行が問題となっています。適切な治療を行うためには、原因ウイルスを特定する必要があります。これまで個別のウイルスに対する検査キットは存在しましたが、それぞれの検査のため何度も鼻腔から検体を採取する必要があり、患者の方や医療従事者にとって、その負担は無視できませんでした。そこで、富山大学で開発された新型コロナウイルスに対する抗体に加え、A 型インフルエンザウイルス、B 型インフルエンザウイルスおよび RS ウイルスに対する抗体を組み合わせ、これら 4 種類のウイルス由来の抗原を同時に検出可能な検査キットの開発を行いました。東洋紡(株)は厚生労働省より製造販売承認を得て、10 月末より医療機関および検査施設向け検査キットの販売を開始します。

本キットは、特別な機器を必要とせず簡便な操作で、鼻咽頭ぬぐい液および鼻腔ぬぐい液から、新型コロナウイルス、A 型/B 型インフルエンザウイルスおよび RS ウイルスを約 15 分で検出することが可能です。採取した検体から同時に 4 種類のウイルスを区別して検出できることにより、患者の方の検体採取の負担軽減や、医療従事者の採取作業の省力化・検査の効率化への貢献が期待されます。

※本キットに使用した新型コロナウイルス抗体の開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の平成 31 年 (令和元年) 度 「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」 (2 次公募) (研究開発課題名「SARS-CoV-2 の臨床現場即時検査法開発に関する研究」) の支援を受けました。富山大学 学術研究部工学系 (磯部 正治 特別研究教授、黒澤 信幸 教授) ならびに東洋紡(株)との共同研究で基本性能評価試験を実施し、京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学 (松村康史 准教授) と東洋紡(株)との共同研究にて臨床性能評価試験を実施しました。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 学術研究部工学系 特別研究教授

富山大学 先端抗体医薬開発センター センター長 磯部 正治

TEL : 076-445-6872

E-mail : isobe@eng.u-toyama.ac.jp